南房総市社会福祉協議会広報紙

てんだぁ 第58号

『てんだぁ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2022年11月

〒294-0813 千葉県南房総市谷向(やむかい)109-1 TEL (0470) 29-3729／FAX (0470) 36-2261
ホームページアドレス http://www.shakyo-minamiboso.or.jp

CONTENTS ～主な内容～

○災害時に必要なのは地域のチカラ …… 2P・3P
○福祉体験出前講座の紹介 …… 4P
○福祉ニュース …… 5P
○ボランティアネット和ーク …… 6P
○共同募金運動が始まります・お知らせ …… 7P
○善意の寄附・お知らせ …… 8P

移動販売車で買い物支援スタート

富浦地区では、地域の課題となっていた買い物に行く事ができない人達へ、区長さんや民生委員、ボランティア団体の方々が話し合いを進め、9月27日から富浦地区内の11ヶ所で移動販売が始まりました。

ネリネ
花言葉：「また会う日を楽しみに」

赤い羽根共同募金 この広報紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

災害時に必要なのは地域のチカラ

近年、各地で台風や地震などによる自然災害が発生しています。このように自然災害が発生した際に、被災者の活力を取り戻すためには、一人で不安を抱え込まずに相談できる話し相手や隣近所同士の助け合いなど、被災者への寄り添いが必要になります。そこで、今回は災害に備えた取り組みについてご紹介します。

令和元年房総半島台風　南房総市

ボランティア活動

●被災地のためにボランティア活動をしたい時どうする？

被災地の状況を確認する。

災害が発生してすぐ被災地に駆けつけても、被災地での災害ボランティアの受け入れ体制が整っていなかったり、新型コロナウイルス感染対策のために災害ボランティアの受入れ範囲を制限していたりする場合があります。被災地の社会福祉協議会のホームページやフェイスブックなどの SNS を確認し、最新情報を知りましょう。

ボランティア活動保険に加入する。

ボランティア活動保険は地元社協で加入手続きができます。

ボランティア活動中、万が一の事故に備えて、必ず保険に加入してください。

被災地の災害ボランティアセンターでボランティア登録をする。

災害ボランティア活動を始める時にはまず災害ボランティアセンターへ登録し、ボランティアを必要としている人へ伺い、活動をします。

災害時のボランティア活動について

災害ボランティアには力仕事だけではなく、お話を聞いたり、炊き出しを行ったり色々な活動がありますので一部を紹介します。

話し相手や被災者の不安な気持ちのケア

家財のかたづけや瓦礫（がれき）の撤去

物資の仕分け作業や炊き出し

災害ボランティアセンター

●災害ボランティアセンターってどんなことをするの？

地震や豪雨などの大規模な自然災害起きると、南房総市と南房総市社会福祉協議会との協議により「災害ボランティアセンター」を立ち上げます。被災者のニーズ（困りごとや必要としていること）とボランティアをつなぐ機能を担います。

①ボランティア受付
ボランティア保険の加入
ボランティア登録の手続き

▶ **②オリエンテーション**
被災者のプライバシー保護
活動上の留意事項

▶ **③マッチング**
依頼内容の説明
活動先の選択
活動グループ作り

▶ **④資機材の貸出**
必要な資機材の貸出を受けます

▶ **⑤支援活動**
被災者に寄り添う気持ちを忘れずに支援活動をします

▶ **⑥活動報告**
リーダーが状況や継続の有無を報告します

災害ボランティアセンターでは被災してしまったが、どこに相談すればよいかわからない、心身ともに疲れてしまった、など困りごとや不安な気持ちに寄り添いニーズを聞いていきます。被災者とボランティアを結び、復興・生活再建のお手伝いをします。

これまで南房総市社会福祉協議会では令和元年房総半島台風により市内広域において災害を受けた際に立ち上げました。地元住民や関東ブロックの社会福祉協議会職員や災害支援団体の方と協力して災害支援活動を行いました。

ボランティア受付の様子

●災害に備えた取り組み●

災害ボランティアセンタースタッフ養成講座

特別な知識や資格は必要ありません。南房総市社会福祉協議会主催の災害ボランティアセンタースタッフ養成講座も実施しております。

外部から講師を招き災害について基礎から実践的な内容の説明を受けるなど、災害ボランティアセンターの運営についても学ぶことができます。

各種見守り事業

市内の民生委員・児童委員やボランティアの方と協力して普段から顔の見える関係づくりを作るために見守り活動を行っています。

近所で見守りを行うことで災害時の支援や必要な情報を伝えることに繋がります。

災害ボランティアセンターは、被災の状況に応じて、機能や設置場所を変えて運営します。今後も地元に詳しい住民の方や専門知識を持った関係機関など平時から様々な方と連携を図り、防災意識の向上に努め、地域住民と同じ目線に立った活動を進めてまいります。

みんながお互いに支え合い、やさしさを育む福祉のまちづくり推進

＜南房総市社会福祉協議会の福祉体験講座を紹介＞

南房総市社会福祉協議会では、様々な立場にある人たちがお互いに支え合い、やさしさを育む福祉のまちづくりを推進しています。

福祉体験講座を通して高齢者や障がいのある方への理解を深め、またボランティア活動の推進と普及を図ることを目的に市内の小・中学校からの依頼でボランティアの協力のもと職員が赴き実施しております。

今回は、その講座の一部をご紹介します。

白内障ゴーグルをつけて本が読めるかな

サポートする側、される側を体験

手話で自己紹介ができるよ

高齢者疑似体験

白浜中学校では３年生 25 名、富山学園（富山小）では５年生 28 名を対象に高齢者疑似体験を行いました。

座学から始まり、クイズ形式などを交えながら高齢者について学びました。

体験では実際に装具を付け、視力・聴力の低下、関節の拘縮（こうしゅく）、腰の曲がり等を再現し、階段の上り下りや本で文字の大きさや色の見え方を体験しました。

体験中は周りの人がサポートし体験者がつまずかないように手を差し伸べたり優しく声をかけていました。

体験をしてみて「とても動きにくく高齢者の大変さが分かった」「地域で困っている方がいたらお年寄りの気持ちに寄り添ってお手伝いがしたい」と話していました。地域で困っている方がいたらひと声かける勇気をもって優しく接してくださいね。

手話講座

嶺南小学校では、６年生 56 名を対象に手話体験を行いました。

安房郡市手話サークル連絡協議会にご協力いただき、安房郡市聴覚障害者協会から大倉清行さんを講師に迎えました。日常生活を送る中で困っていることや解決方法をクイズを交えながら話していただきました。

また、簡単な自己紹介や挨拶の方法を教えていただきました。

最後に手話で伝言ゲームのお題が出され、相手に伝わるように一生懸命手話で表現していました。児童から「手話で相手に伝えることが難しかった」「自分の名前を手話で覚えることができてよかった」との声も聞かれました。

手話は、聴覚障がいの方にとって大切な「ことば」であり、コミュニケーションのひとつです。体験を通して地域でも活かしてみましょう。

福祉ニュース FUKUSI NEWS

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

6月28日

楽しいひと時を満喫

～丸山地区社協小規模サロン～

保健師による熱中症予防のお話

75歳以上の方を対象に今年度第1回目のふれあい小規模サロンを丸地区と南地区に分かれてコロナ感染の対策を行い、実施しました。

年々暑さが厳しくなってきている夏を乗り切るために、保健師による熱中症予防について話を聞きました。

久しぶりの開催ということもあり、仲間との会話を弾ませ「みんなと会えて嬉しいわ」と笑顔で喜ばれていました。楽しいひと時を満喫しました。

7月27日

笑顔で再会

～白浜地区社協 西横渚地区高齢者のつどい～

70歳以上の方を対象にコロナ感染の対策を行い、地域の高齢者23名が参加しました。

当日は、駐在さんから「詐欺の注意喚起の話」、外房高齢者相談センターの職員から「これからの人生について」の話や性格診断と「北国の春」の曲を口ずさみながら健康体操をしました。

最後に地元にお住まいの方からマジックショーが披露されました。マジックの仕掛けに驚き、大笑いしながらの楽しい時間を過ごしました。

久しぶりに友人と再会し「元気だった?」と喜び合い、会話も弾み笑顔があふれたひとときでした。楽しく交流できて良かったです。

曲に合わせて健康体操

8月25日

ご近所でささえあう防災について

～和田地区社協委員研修～

お米は美味しくできるかな？

南房総市赤十字奉仕団や防災士を講師に防災に関する基本的な知識を学び、隣近所でささえあう関係を作っていくことを目的に研修を開催しました。

炊飯袋を使ったご飯作りでは手順を教えていただきながらお米を炊き上げる方法を学びました。

また、災害が発生する前に普段から地区で話し合っていく事、停電時にも情報を的確に知るためにラジオの活用についても話がありました。三角巾の使い方では、「普段からやっていないとなかなか難しいね」との声もあり参加者同士で教えあいながら学んでいました。

9月27日

買い物支援スタート

～こらぼ♡富浦 移動販売車運行～

富浦地区では、一人暮らし高齢者や運転免許証を返納し、買い物に行く事ができない方々などへ、地域で何かできることはないかと区長さんや民生委員、老人クラブの方々が話し合いを進め、株式会社千葉薬品の「移動スーパーらくちん便」を毎週火曜日、地区内11ケ所を運行する移動販売が始まりました。

自宅から近くで買い物ができる移動販売に地域の方から「毎週火曜日が楽しみになった」「免許がないから近くに来てくれて助かり、とても便利です」との声もあり、また地域の方が集まる拠り所にもなっています。

豊富な品揃えに買い物も楽しくなります

ボランティアの活動をレポート

ボランティアネット和ーク

広がれ！

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

ボランティア連協

声の広報つくし会

まごころこめて音声を届け41年

5名の会員で南房総市の「広報みなみぼうそう」や「広報お知らせ」などの情報をカセットテープに録音して、目の不自由な方や希望される一人暮らしの高齢の方へお届けしています。

この活動は、昭和56年から始まり41年目になりました。

間違えずに読むことはもちろんですが、写真や表などをどう分かりやすく伝えるか、聞いてくださる方のことを常に頭に思い浮かべながら読んでいます。

今後は、目のご不自由な方ばかりではなく、手軽に広報を聞きたい、細かい字が読みづらくなってきた方にも、お届けできたらいいなと思っています。お知り合いにそんな方がいらしたら、声の広報のことを教えてくださいね。お願いします！

声に吹き替えて情報をお届け

8月23日　災害ボランティア養成講座

地域の防災について考えよう

南房総市内の民生委員・児童委員や地区社会福祉協議会委員を対象に富山岩井コミュニティセンターで開催しました。15名が参加し、講師の公益社団法人SL災害ボランティアネットワークの方より動画を交えながら災害について基礎的な知識を学び、身の回りで避難が困難な人、生活再建に配慮が必要な方について意見交換をしました。

災害が発生した際に一番地域を知っている地元の皆さんが困りごとに気づきやすいという話や「普段からの何気ない声掛けや関係づくりが大切だと知りました」と参加者から話がありました。

避難する前の準備を確認！

8月28日 福祉ボランティアスクール

ボランティアについて学ぶ

南房総市内の中学生・高校生を対象とした「福祉ボランティアスクール」を開校しました。参加者は2名で「ボランティアについて学びたい」と参加をしてくれました。

地域のボランティア団体を訪問してボランティアを体験する予定でしたが、コロナ感染対策として内容を変更してオンラインでの実施となりました。

ボランティアについての基礎知識を学んだり、カードゲームで災害対応が体験できる「クロスロード」を行ない、参加者から「ボランティア活動をしたい気持ちがより強くなった」と話していました。

カードゲームで災害対策を体験

共同募金運動が始まります！

南房総市を良くするしくみ

赤い羽根共同募金　**歳末たすけあい募金**

今年も 10 月 1 日から全国一斉に共同募金運動が始まります。地域の皆様から寄せられた募金は、市内で支援を必要としている人や、住みよい地域をつくる活動に役立てられます。

本会においても、戸別募金等の様々な方法で、幅広く募金のご協力をお願いしてまいります。

共同募金は皆様のやさしさが地域でいきる募金ですので、どうか趣旨をご理解いただき、募金運動にご協力をお願いいたします。

募金のしくみ

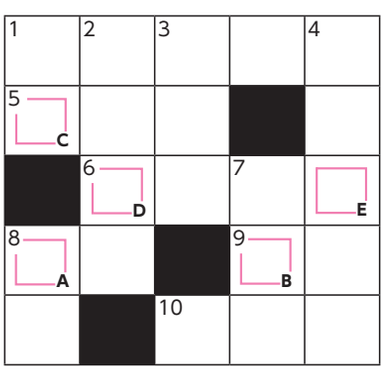
- **●戸別募金……区長さんを通じ、各ご家庭にご協力をお願いします。**
- **●法人募金……企業や事業所に呼びかけます。**
- **●職域募金……会社で働く人に職場での募金を呼びかけます。**
- **●学校募金……福祉を学ぶきっかけに、児童・生徒にご協力をお願いします。**
- **●街頭募金……街頭で地域の方々へ呼びかけます。**
- **●協力店募金…地域のお店や施設を利用する人にご協力をお願いします。**

皆様からご協力いただいた募金は、千葉県共同募金会に集まります。そして、配分計画に基づき、市町村社会福祉協議会、福祉施設、福祉団体等へ配分されます。

赤い羽根共同募金の約 70％は南房総市の地域福祉を推進する活動に、残りの 30％は県内の高齢者・障がい者施設への助成、大規模災害のための積立金、災害見舞金として使われます。また、歳末たすけあい募金は、全額南房総市で支援が必要な方々のために活用されます。

頭の体操

■たて・よこのカギを解いて ABCDE の文字を答えよう！



クロスワードパズルクイズをやってみよう！

↓たてのカギ

1：大きな角を持つ動物。
2：オスは長く色鮮やかな羽をもっています。
3：アイス○○○、アイル○○○、フィン○○○
4：アベレージはいくつ？
7：家のシンボルマーク。
8：振動として耳に届きます。

→よこのカギ

1：丸くて小さな赤い実がおいしい。
5：すぐれた業績を成し遂げた人。
6：貝殻を背負って生活しています。
8：○○の細道。
9：建築物の外囲いに設けた出入り口。
10：赤い顔に長い鼻。お面も売っています。

A	B	C	D	E

※クロスワードパズルの答えは最後のページに 掲載してあります。

お知らせ

～司法書士が相談に応じます～

無料法律相談

時間／午後1時～午後4時40分

開設日	場　　所
11月17日㈭	富山岩井コミュニティセンター
12月15日㈭	和田地域福祉センターやすらぎ
1月19日㈭	とみうら元気倶楽部
2月16日㈭	ちくら介護予防センターゆらり

※新型コロナウイルス感染症の動向により中止になる場合もあります。

○事前予約申込：前月の開催日翌日から電話にて予約を受け付けます。
○定　　員：5人（相談はおひとりにつき 40 分まで）
○そ の 他：**調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。弁護士による相談は他の機関を紹介します。**

予約・問い合せ先:南房総市社会福祉協議会(本所)
☎ 29-3729

ご意見をお待ちしています！

広報紙「てんだぁ」に関するご意見やご感想をお待ちしています。

＜応募方法＞（1）はがき　①ご意見・ご感想　②住所　③氏名　④年齢　⑤電話番号を記載の上、南房総市社会福祉協議会(本所)へご送付ください。
（2）フォーム（https://forms.gle/iR9sQ9ANSKkRjYPq5）からアンケートにご回答ください。

＜応募締切＞ 11 月 25 日（金）消印有効

※個人情報はお寄せいただいたご意見等の内容を確認する以外には使用いたしません。

たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄附

敬称略 / 令和４年６月～令和４年９月

舞花カラオケ愛好会	20,000円
池田信雄	5,141円
匿名　（7件）	249,856円

〔物品寄附〕

匿名　（2件）	米（玄米・白米）　10kg
	米　5kg×6袋

この寄附金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

紙おむつを支給します

南房総市に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベット上で過ごされ日常生活のほとんどに介助を要する介護保険法で定められた要介護認定3・4・5の方
	・身体障害者手帳（1・2級）をお持ちの方。
	・精神障害者保健福祉手帳（1・2・3級）および療育手帳（A・B）をお持ちの方
品目	紙おむつ　尿取りパット　紙パンツ ※1回あたり税込 5,000 円以内 ただし要介護3の方は税込 2,500 円以内
提出書類	①紙おむつ給付申請書 ※お住まいの地区の民生委員・児童委員の意見・名前・印鑑が必要 ②介護保険証または障害者手帳等の写し

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65 歳以上で在宅の要介護認定4・5の方、介護しているご家族 ※要介護高齢者の属する世帯全員の前年度分の市民税が非課税であることが必要
品目	紙おむつ　尿取りパット　紙パンツ ※１回あたり 25,000 円以内
提出書類	①高齢者介護用品支給申請書 ②介護保険証の写し ③購入希望先業者の見積書

給付月および申込期限

2月給付の申込は　**令和5年1月11日（水）**まで
申込先／南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター
問い合せ先／南房総市社会福祉協議会（本所）
または、お近くの福祉サポートセンターへ

子どもたちの福祉活動へ寄附
～ KDDI 株式会社（南関東総支社様）～

KDDI 株式会社では社員の皆様が行った社会貢献活動をポイント化し、蓄積されたポイントを元に各種機関や団体に寄附・贈呈を行う「＋αプロジェクト」を実施されており、本会への寄附は3回目となります。

お預かりした寄附金は、市内の小中・高校で行っている福祉活動に活用させていただきます。

目録を手渡す手嶋南関東総支社長（左）と渋谷社協会長（右）

車いすのまま乗り降りできるコンパクトカー「ゴルフフェスタ号」を寄贈
～千葉県ゴルフ協会様～

千葉県ゴルフ協会では、県内のゴルフ場で「ゴルフフェスタCHIBA 2021」として募金活動を実施し、県内の社協や福祉施設へ福祉車両を寄贈しており、本会へ福祉車両が寄贈されました。

寄贈された福祉車両は、通院やお買い物といった外出を支援する移送サービス、福祉車両の貸出に活用させていただきます。

スロープで乗り降りもらくらく

P7 クロスワードパズル
【答え】

オ	モ	イ	ヤ	リ

facebook　twitter

― 発行・編集 ―
（各種申込先）
社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会
◆本所　南房総市谷向（やむかい）109-1
☎ 29-3729　FAX 36-2261
◆とみうら福祉サポートセンター　☎ 33-4565
◆とみやま福祉サポートセンター　☎ 57-2926
◆みよし福祉サポートセンター　☎ 36-2276
◆しらはま福祉サポートセンター　☎ 30-5122
◆ちくら福祉サポートセンター　☎ 44-3541
◆まるやま福祉サポートセンター　☎ 46-2200
◆わだ福祉サポートセンター　☎ 47-3390